

別紙

公開概要書

| 受付日 | 令和4年5月24日 | 回答日 | 令和4年6月13日 | 担当課 | 秘書課 |
|--------|---|-----|-----------|-----|-----|
| 意見等の内容 | <p>来年は人麿公没千三百年の年。益田市は古代短歌の一人者 柿本人麿公の関りがとても深い地域であるが、短歌への関心、そして歌人としての人麿さんへの関心もあまり高くない印象。千三百年忌をきっかけに人麿さんの再発見、短歌への関心を特に若い人たちへ働き掛ける取り組みを。</p> <p>具遺体的な提言として、市広報にヤング（十八歳未満）の短歌コーナーを設け、募集する。この趣旨を中学校、高校に伝える。特に国語の教師に趣旨を理解してもらう。</p> <p>予想される効果としては、若い人たちが人麿さんの再発見、短歌への関心が高まり、人生を楽しめる基礎作りとなるとともに言葉への関心が高まる。</p> | | | | |
| 回答の内容 | <p>現在、2023年に予定される柿本人麿没後1300年祭に向けた取り組みにつきましては、市民団体で構成される「柿本人麿没後1300年祭推進委員会」において準備が進められており、3部門6部会等の組織体制により、それぞれのテーマ性をもった様々な事業展開への調整や検討が行われているところです。</p> <p>なかでも「ふるさと教育部門・きっかけづくり部会」においては、新たな視点で子どもたちに対しての事業企画を検討されており、「歌聖」「ひとまるさん」「万葉集」に関する子どもたちによる発表企画なども検討されていると聞いています。</p> <p>また、小学校、中学校におきましても、短歌、俳句等についての学習カリキュラムが組まれており、その際、柿本人麿公について学習し触れ合う機会を設けているところです。</p> <p>ご提案いただきました取り組みにつきましては、現在市として短歌募集を行う予定はございませんけれども、素晴らしいご提案の内容であることは十分認識しておりますので、今後の「柿本人麿没後1300年祭推進委員会」への関わりに際しまして、参考とさせていただきますと存じます。</p> | | | | |